

# ■ ポート・オブ・ザ・イヤー 2018 に紋別港が選定される

紋別市 建設部 港湾課

このたび、公益社団法人日本港湾協会が全国で最も「みなとの元気」を高めた港湾を表彰する「ポート・オブ・ザ・イヤー」に、紋別港が選定されました。紋別港を応援いただいた皆様に、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

オホーツク海沿岸に位置する紋別港の修景厚生港区「ガリヤ地区」は、「流水砕氷船ガリンコ号」や「氷海展望塔オホーツクタワー」などの施設が集積しており、冬の流水まつりをはじめとしたイベントの会場となるなど、市を代表する観光の拠点となっています。



流水砕氷船ガリンコ号Ⅱ



氷海展望塔オホーツクタワー

ガリヤ地区を構成施設とする「みなとオアシスもんべつ」では、港湾協力団体であるみなとオアシスもんべつ運営協議会を中心に「みなとからの地域活性化」に取り組んでおり、夏季のウォーターフロントフェスティバル(海洋コンサート)や冬季の防波堤をイルミネーション事業など、多くの市民が港を訪れるようなみなとの空



間づくりをすすめています。

平成30年8月25～26日には、ガリヤ地区の整備20周年を記念して「Sea級グルメ全国大会」が紋別港を舞台に開催されました。全国各地のみなとオアシスから個性豊かなSea級グルメが一堂に集結し、完売も相次ぐなど大盛況のイベント模様となり、来場された多くの皆様に紋別港の魅力をPRすることができました。



Sea級グルメ全国大会 inもんべつ

産業面においては、紋別港はオホーツク海の豊かな水産資源に恵まれており、基幹産業のひとつである水産業は、古くから紋別市の経済を下支えしてきました。平成29年5月には、紋別港を含む道内6港湾の港湾管理者が連携して策定した「農水産物輸出促進計画」が全国初の認定を受け、水産物の輸出促進に向けた取組がはかられており、紋別港においては平成30年より屋根つき岸壁の整備が開始されるなど、さらなる港の活力向上へ効果が期待されています。

こうした地域一体となった港の振興への取組がこのたびの受賞につながったものと考え、これを励みに、より一層ウォーターフロントの魅力向上に取り組んでまいりたいと思います。今後とも、紋別港の応援をよろしく申し上げます。



紋別港全景